

新春講演会・賀詞交歓会
株紅中 2月23日開催

平成30年「紅中新春講演会・賀詞交歓会」が2月23日(金)午後2時から中央区本町のシテイプラザで催され、場内を埋め尽くした多数の来場者が9分、黒田クロ講師の「考え方がその人の人生を決める」をテーマにした絶妙な話術と内容に翻弄され続けた。



中村社長

冒頭、中村晃輔社長が謝意とともに「紅中は総合空間創造企業として皆様のお役に立ちたい」と述べて、次のように語った。まず熊本産材のS・D・J・A・S製材品の製造販売の強化。さらにモノづくり分野や店舗等の非住宅分野への注力。紅中発祥の地である京都二条にシヨールーム機能を有した「見せる営業所」を開設。小さな改善を積み重ね、工事に関しても施工力を徐々に上げてゆく。その一環の職方不足対策として4月、高槻に「ハウスリフォーム・育成学院」を開校する。何よりも大切な情報に関して

は「係わる方に伝わる情報発信」に磨きをかける。

続いて営業企画ゼネラルマネージャーの上林信幸取締役が「今後の営業方針」を説明した。前期67期は若干の売上減だったが70周年を見据えた3年計画によって70期は売上267億円、経常利益4億6千万円を目標とする。自然素材で人気上々のS・D材は月産60mから200mに増産し、関連会社を含めたモノづくり分野にも力を入れる。年200回以上の講演をこなす黒田氏は「相手が変わるより自分が変わる」「考えではなく考え方を考える。方とは見方、立場のこと」「他人の喜びを優先する」「気の持ち方を変えたら簡単に変わる」「目標を決めたら生き方が決まる。死に方を決めたら生き方が決まる」「間を繋ぐものが縁」「因縁生起」「意識の意は心」等々の言葉を残した。

多能工職人 育成

高槻で4月開校 紅中

大阪浪速区の株紅中(社長・中村晃輔氏)が4月から開校する「ハウスリフォーム・育成学院」の施設見学会が3月6日と7日、高

ハウスリフォーム 育成学院

槻市上牧の校舎内で開催された。説明に当たったのは信本正幸氏(育成学院学長)。
人口減や高齢化に加えて空き家の激増。時代の流れは新築からリフォームに向かっていると誰かと思えば、国策も中古住宅(既存住宅)市場に軸足を移しつつある。しかし、期待するほどリ

フォーム市場は伸びていない。その最大の原因が「儲からない」。リフォーム工事の半分以上が10万円〜50万円、手間ひまがかかる割には儲からないのが実情だ。
生き残る道は「分離発注型」ではなく「自社施工型」。従来はキッチン・トイレ・床・壁・天井などのリフォーム工事は夫々の職種の職人が施工していた。これでは儲からない。せいぜい粗利は25%位だという。自社施工にすれば粗

利額は倍増する、が問題は職人。そのためには自社で職人を抱えることが必須だ。4月から開校する「ハウスリフォーム・育成学院」は長崎県が発祥の地。一つの職種・技術だけではなく複数の職種・技術を身につけた「多能工職人(マルチ・クラフター)」を育てる学校だ。
リフォーム市場の30%以上が水廻り、次いで内装が20%。従って習得スキルは「便器取付」「洗面台取付」「システムキッチン組立」「クロス張替」「タイルフロア施工」等の実技が中心、加えて営業面の「接客対応・基本積算」まで勉強するという。
育成学院の1クールは12日間・80時間(講座・実施研修・修了試験)教科書付き。受講料は54万円、1クール6名募集。4月2日から始まり8月10日まで9クールの授業。長崎では2年で130名が卒業した。申込は☎(072-669-2116)にて。